

ごあいさつ



経営管理委員会会長

石部 和美



経営管理委員会副会長

竹村 敬三



代表理事理事長

川崎 宏

平素は、私ども滋賀県信用農業協同組合連合会（愛称、「JAバンク滋賀信連」）に対し、格別のお引き立てをいただき誠にありがとうございます。

このたび、当会への理解をより深めていただくために、令和元年度版ディスクロージャー誌を作成いたしました。ご一読いただければ、幸いに存じます。

日本経済は、雇用・所得環境の改善とそれに伴う個人消費の持ち直し等により、緩やかな景気回復が継続していましたが、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大により、一転して減速の度合いを強めていくことが確実な情勢にあります。既に足もとでは、感染症拡大の影響による企業倒産が発生しており、今後も、雇用や設備投資、個人消費等といった経済活動全般に対する悪影響が強く懸念されるところです。

金融市場についても、今後の感染症拡大の状況によっては、企業業績の更なる悪化による株価下落や、金利や為替の乱高下も懸念されるなど、先行きは極めて不透明な状況にあります。

一方で、農業情勢に目を移すと、従来からの課題（高齢化に伴う担い手不足、TPP11等をはじめとする経済連携の影響等）が依然として残されているなか、今般の感染症拡大が農産物の需要を減退させ、既に和牛や青果等の価格が下落するなど、国内農業を取り巻く環境は、一層厳しいものとなっています。

こうした状況のもと、JAグループでは、まずは感染症拡大によって被害を受けた農業者への支援を最優先するなか、今後、激変する環境に適時・適切に対応し、農業・地域社会へ引き続き貢献するため、県内JAと共に、持続可能な経営基盤の確立・強化に向けた取組みを進めているところです。

さて、令和元年度は、第15次中期経営計画（令和元年～3年度）の初年度として取り組みました結果、当会におきましては所期の目標を上回る成果をあげさせていただくことができました。このことは、ひとえに会員ならびに利用者の皆さま方の絶大なるご理解とご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

引き続き、目標必達に向け、役職員が一丸となり取組んでまいりますので、皆さまの一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年7月